

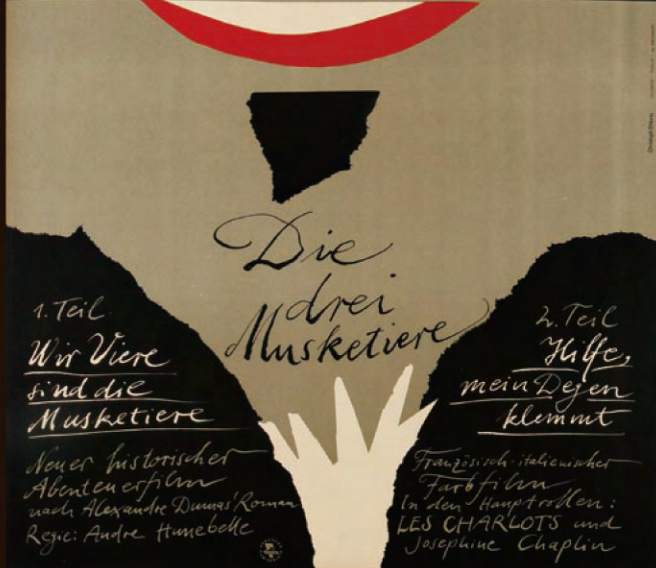
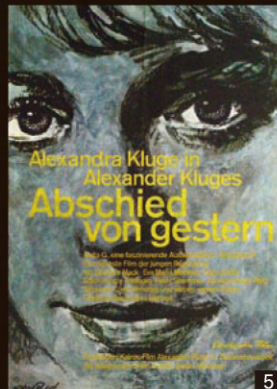
NFC  
東京国立近代美術館フィルムセンター  
National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

# Deutsche Filmplakate der Nachkriegszeit

Peter Lorre  
Gustaf Gründgens  
Theo Lingg  
Otto Wernicke  
in Fritz Langs

# M

Eine Stadt jagt einen Mörder  
Das unübertroffene Meisterwerk des deutschen Kriminalfilms  
Prädikat: Besonders wertvoll



展 覧 会

# 戦後ドイツの 映画ポスター

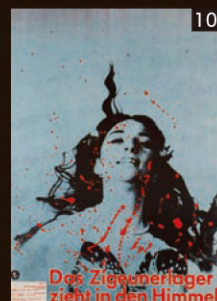
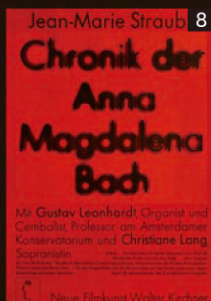
POSTWAR GERMAN POSTERS FOR FILMS

2016 11/15 火 → 2017 1/29 日

月曜日、12月26日頃から1月3日は休室です。

東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室 (7階)

開室時間: 午前11時—午後6時30分(入場は午後6時まで)  
料金: 一般210円(100円) / 大学生・シニア70円(40円) / 高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料  
\*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。  
\*フィルムセンターの上映企画をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。



主催 東京国立近代美術館フィルムセンター  
京都国立近代美術館  
後援 駐日ドイツ連邦共和国大使館  
協力 ドイツ映画研究所(DIF)  
サントリーホールディングス株式会社  
Goethe-Institut/ドイツ文化センター



東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>

# 東西統一から四半世紀——“壁”の両側のグラフィックをたどる

第二次世界大戦の終結後、政治対立により東西二つに分断されたドイツは、1990年に統一されるまでの間、冷戦の最前線にあって映画界も別々の道を歩むことになりました。西ドイツでは映画製作が息を吹き返すとともにアメリカや西欧の映画が盛んに輸入され、東ドイツでは国営会社DEFAによって独自の社会主義的な映画文化が育まれました。

そうした映画文化の分岐は、映画のポスターにも及びました。西ドイツでは、アート・フィルムを配給する会社がハンス・ヒルマン、フィッシャー＝ノスピッシュ夫妻ら新世代のグラフィック・デザイナーを積極的に起用し、時に大胆なタイポグラフィに訴えた鮮烈なポスターが制作されました。一方で東ドイツでは、DEFAの采配のもと、エアハルト・グリュットナーやオットー・クンメルトラが、内省的な、しかし宣伝美術の枠に囚われない自在な表現を生み出します。

## Deutsche Filmplakate der Nachkriegszeit

この展覧会では、フィルムセンターと京都国立近代美術館の共催により、1950年代後半から1990年までに制作された85点(西ドイツ45点+東ドイツ40点)の映画ポスターを通じて、“鉄のカーテン”の両脇で花開いた二つのグラフィズムを紹介します。

またこの展覧会は、11月29日から12月25日まで開催される特集上映「DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画」の関連企画として行われます。映画上映と併せてお楽しみください。



### 図版 西 西ドイツ 東 東ドイツ

- 『ミュリエル』(1963年/フランス/アラン・レネ監督) ポスター:ハンス・ヒルマン(1963年) **西**
- 『メフィスト』(1981年/ハンガリー/サボー・イシュトヴァーン監督) ポスター:ホルスト・ヴェスラー(1981年) **東**
- 『M』(1931年/ドイツ/フリッツ・ラング監督) ポスター:ヴォルフガング・シュミット(1966年) **西**
- 『三銃士』(1953年/フランス=イタリア/アンドレ・ユヌベル監督) ポスター:クリストフ・エーベッツ(1977年) **東**
- 『昨日からの別れ』(1966年/西ドイツ/アレクサンダー・クルーゲ監督) ポスター:フェリー・アーレ(1966年) **西**
- 『チンボラソ山登頂』(1989年/東ドイツ=西ドイツ/ライナー・ジーモン監督) ポスター:アルブレヒト・フォン・ボテカー(1989年) **東**
- 『七年目の浮気』(1955年/アメリカ/ビリー・ワイルダー監督) ポスター:フィッシャー＝ノスピッシュ(1966年) **西**
- 『アンナ・マгдаレーナ・バッハの日記』(1968年/西ドイツ=イタリア/ジャン＝マリー・ストロープ・ダニエル・ユイレ監督) ポスター:イゾルテ・モンソン＝パウムガルト(1969年) **西**
- 『ジャンヌ・モローの思春期』(1979年/フランス=西ドイツ/ジャンヌ・モロー監督) ポスター:エアハルト・グリュットナー(1981年) **東**
- 『ジプシーは空にさえる』(1976年/ソビエト/エミール・ロチャヌー監督) ポスター:ヘルムート・ブラーデ(1977年) **東**
- 『ドクトル・マブゼ』(1922年/ドイツ/フリッツ・ラング監督) ポスター:カール・オスカル・ブラーゼ(1963年) **西**
- 『さよなら子供たち』(1987年/フランス=西ドイツ/ルイ・マル監督) ポスター:オットー・クンメルト(1989年) **東**
- 『5時から7時までのクレオ』(1962年/フランス/アニュス・ヴァルダ監督) ポスター:イゾルテ・モンソン＝パウムガルト(1967年) **西**
- 『七人の侍』(1954年/日本/黒澤明監督) ポスター:ハンス・ヒルマン(1962年) **西**
- 『スタートレック』(1979年/アメリカ/ロバート・ワイズ監督) ポスター:レギーネ・シュルツ&ブルクハルト・ラボフスキ(1985年) **東**
- 『ついて来い、追いつくから』(1976年/フランス/ロベール・ブーレ監督) ポスター:ハインツ・ハントシク(1980年) **東**

ドイツ映画研究所蔵 3、5、8、13、14/サントリーホールディングス蔵 1、4、7、10、11、12、15/フィルムセンター蔵 2、6、9/個人蔵 16

### トークイベント

- 11月26日⑤ 冷戦下の東ドイツ映画  
山根恵子氏(法政大学名誉教授、現代ドイツ文学・映像文化)
  - 12月17日⑤ 戦後ドイツのポスター・グラフィック  
寺本美奈子氏(グラフィックデザイン・キュレーター)
  - 1月21日⑤ 展示品解説  
フィルムセンター研究員が展示品を解説いたします。
- 詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

### 関連上映企画

**DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画**  
11月29日④～12月25日⑥  
会場:フィルムセンター大ホール(2階)  
詳細は該当チラシをご覧ください。

### 巡回先

京都国立近代美術館(4階コレクション・ギャラリー)  
2017.4/19(木)→6/11(日)



〒104-0031  
東京都中央区京橋3-7-6  
お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600  
東京国立近代美術館ホームページ  
<http://www.momat.go.jp/>

東京国立近代美術館フィルムセンター  
**National Film Center**  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

交通  
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

長瀬映像文化財団  
フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

